

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学 I	3	1 年生

1 使用教材

使用教科書	改訂版 新編 数学 I (数研出版)
副教材等	改訂版 教科書傍用 クリアー 数学 I + A (数研出版)

2 学習の目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解する。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。 3 事象を数学的に考察し処理する能力を培い、数学のよさを認識できるとともに、それらを活用するようになる。
--

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査で知識・理解、数学的な見方や考え方、数学的な技能を、小テストなどで、関心・意欲・態度、知識・理解を、各課題や平素の授業などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%(課題テストを含む)
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20%(課題テスト含む)
	2 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%(課題テストを含む)
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20%(課題テスト含む)
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20% (課題テスト含む)	
	学年	$(1 \text{ 学期成績} + 2 \text{ 学期成績} + 3 \text{ 学期成績}) \div 3$	

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習で問題を解いてから解説を聞くことで、その問題の考え方が身に付きます。予習・復習をしっかりと行いましょう。 ・ ほぼ毎日出される宿題は必ずやりましょう。取組状況は平常点として加味します。 ・ 授業は丁寧に行う予定ですが、分からないことがあれば、昼休みや放課後の時間を使って質問に来ましょう。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲
1 学期	4	○課題テスト 第1章 数と式 第1節 式の計算	式を多面的に見たり処理したりできるようになる。	中間
	5	第2節 実数 ○中間考査	数を実数まで拡張する意義を理解する。	
	6	第3節 1次不等式	1次不等式を事象の考察に活用できるようになる。	期末
	7	第2章 集合 ○期末考査	集合に関する基本的な概念を理解する。	
2 学期	8	○課題テスト	2次関数とそのグラフについて理解する。 2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有効性を認識する。 2次方程式や2次不等式の解について理解を深め、2次不等式の解法に習熟する。	中間
	9	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ		
	10	第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式 ○中間考査		
	11	第4章 図形と計量		期末
12	第1節 三角比 第2節 三角比への応用 ○期末考査			
3 学期	1	○課題テスト	統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようになる。	学年末
	2	第5章 データの分析 ○学年末考査		
	3			

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学A	2	1年生

1 使用教材

使用教科書	改訂版 新編 数学A (数研出版)
副教材等	改訂版 教科書傍用 クリアー 数学I+A (数研出版)

2 学習の目標

1 場合の数と確率、図形の性質または整数の性質について理解する。
2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付ける。
3 数学のよさを認識できるようになるとともに、それらを活用ようになる。

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点	内 容		
関心・意欲・態度	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。		
数学的な見方や考え方	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。		
数学的な技能	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。		
知識・理解	場合の数と確率、図形の性質または整数の性質における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。		
評価方法	定期考査で知識・理解、数学的な見方や考え方、数学的な技能を、小テストなどで、関心・意欲・態度、知識・理解を、各課題や平素の授業などで、関心・意欲・態度を評価します。		
評価の基準	1 学期	期末考査 80%、平常点 20%	
	2 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20%
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20%	
	学年	$(1 \text{ 学期成績} + 2 \text{ 学期成績} + 3 \text{ 学期成績}) \div 3$	

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ毎日宿題を出します。宿題をすることで授業の内容を理解しましょう。 ・ 日々の予習と復習をしっかりとっておくようにしましょう。 ・ 授業は分かりやすく行う予定ですが、分からないことがあれば、昼休みや放課後の時間を使って質問に来ましょう。

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲
1 学期	4	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	期 末
	5			
	6	第2節 確率	確率についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	
	7	○期末考查		
2 学期	8	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 ○中間考查	平面図形の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	中 間
	9			
	10			
	11			期 末
12	○期末考查			
3 学期	1	第3章 整数の性質 第1節 約数と倍数	整数の性質についての理解を深め、それを事象の考察に活用できるようにする。	学 年 末
	2	○学年末考查		
	3			

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学Ⅱ	2	2年生Ⅰ型

1 使用教材

使用教科書	最新 数学Ⅱ (数研出版)
副教材等	

2 学習の目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。 2 応用問題を解くために、図・表・グラフなどを用いて論理的に考察する。 3 学問としての数学だけでなく、日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。
--

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		各単元の考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査で知識・理解、数学的な見方や考え方、数学的な技能を、小テストなどで、関心・意欲・態度、知識・理解を、各課題や平素の授業などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	2 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20% (課題テスト含む)	
学年	$(1 \text{ 学期成績} + 2 \text{ 学期成績} + 3 \text{ 学期成績}) \div 3$		

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題の解説を聞いて考え方を理解するだけでなく、手を動かして計算することが大切です。 ・ 家庭学習で問題を解いてから解説を聞くことで、その問題の考え方が身に付きます。 ・ 授業では板書の量が多く、ノートを取ることにだけに気を取られず、話をよく聞きながら、ノートを取るスタイルを身に付けましょう。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲		
1 学期	4	○課題テスト 第1章 式と証明 整式の乗法と因数分解 二項定理	小学校で学習した割り算の計算法を多項式に活用し、その計算法に習熟する。また、等式・不等式の証明の問題を解くことで、論理的な考え方を身に付ける。	中間		
	5	整式の割り算 分数式の乗法・除法 ○中間考査				
	6	分数式の加法・減法 恒等式 等式・不等式の証明 相加平均と相乗平均				
	7	第2章 複素数と方程式 複素数 ○期末考査 2次方程式の解と判別式 解と係数の関係			期末	
	8	○課題テスト 剰余の定理と因数定理			図形を、座標平面上で座標を用いて扱う方法を学ぶ。 図形を、方程式を用いて表す方法を学ぶ。	中間
	9	高次方程式の解法 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 直線上の点、平面上の点 直線の方程式 2直線の平行と垂直				
	10	○中間考査				
11	第2節 円の方程式・軌跡と領域 円の方程式、円と直線 軌跡 不等式の表す領域 連立不等式と領域	期末				
12	第4章 三角関数 第1節 三角関数 一般角 ○期末考査 弧度法、三角関数 三角関数の性質					
3 学期	1	○課題テスト 三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式・不等式 第2節 加法定理 加法定理、加法定理の応用	加法定理を利用して、種々の三角関数の値を求める。 2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求める。 三角関数の合成を利用して、関数の最大値・最小値を求める。	学年末		
	2	三角関数の合成 ○学年末考査				
	3					

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学Ⅱ	4	2年生Ⅱ型

1 使用教材

使用教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版)
副教材等	新課程 教科書傍用 クリアー 数学Ⅱ+B [ベクトル、数列] (数研出版)

2 学習の目標

1 授業内容を理解し、応用問題を解くことで、論理的な思考力を身に付ける。
2 演習問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。
3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		各単元の考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査・到達度テストで、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解を、提出ノートやレポートの内容で、数学的な見方や考え方を、授業での取り組みや課題や提出物の状況などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	2 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
3 学期	学年末考査 80%、平常点 20% (課題テスト含む)		
学年	(1 学期成績 + 2 学期成績 + 3 学期成績) ÷ 3		

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で学習した考え方を理解し問題を解くだけでは、すぐに忘れてしまいます。家庭学習でたくさん問題を解き、反復練習をすることで授業内容を覚えます。 授業では板書の量が多く、ノートを取ることに一生懸命になってしまいますので、話をよく聞きながら、ノートを取るスタイルを身に付けましょう。 自分の解答に自信を持ってください。例え間違っている、正答と比べることによって、正しい考え方の理解が一層深くなります。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲	
1 学期	4	○課題テスト		中間	
	5	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明	既習事項を応用して多項式にも適用できることを学ぶ。 数学的な考え方、論理的思考法の根幹を学ぶ。		
		○中間考查			
		第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	2次方程式が常に解を持つように、実数から複素数の世界に広げて考えることができるようになる。		
	7	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線			期末
		○期末考查			
	2 学期	8	○課題テスト		中間
9		第2節 円 第3節 軌跡と領域	座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を理解する。		
		10	第4章 三角関数 第1節 三角関数	三角関数についての理解を深め、それらを日常の具体的な物事に活用する。	
		○中間考查			
11		第2節 加法定理		期末	
12		第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	高校で初めて学習する指数・対数に興味を持ち、理解を深める。		
		○期末考查			
3 学期	1	○課題テスト		学年末	
	2	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	微分・積分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようになる。		
		3	○学年末考查		
			総復習		

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学B	2	2年生Ⅱ型

1 使用教材

使用教科書	改訂版 新編 数学B (数研出版)
副教材等	新課程 教科書傍用 クリアー 数学Ⅱ+B [ベクトル、数列] (数研出版)

2 学習の目標

1 授業内容を理解し、応用問題を解くことで、論理的な思考力を身に付ける。
2 演習問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。
3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		各単元に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査・到達度テストで、数学的な見方や考え方、数学的な技能、知識・理解を、提出ノートやレポートの内容で、数学的な見方や考え方を、授業での取り組みや課題や提出物の状況などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20%
	2 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20%
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20%	
	学年	(1 学期成績 + 2 学期成績 + 3 学期成績) ÷ 3	

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で学習した考え方を理解し問題を解くだけでは、すぐに忘れてしまいます。家庭学習でたくさん問題を解き、反復練習をすることで授業内容を覚えます。 授業では板書の量が多く、ノートを取ることに一生懸命になってしまいますので、話をよく聞きながら、ノートを取るスタイルを身に付けましょう。 自分の解答に自信を持ってください。例え間違っている場合でも、正答と比べることによって、正しい考え方の理解が一層深くなります。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲
1 学期	4	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算	和や差、内積などベクトルの基本的事項を学ぶ。	中間
	5	○中間考查		
	6	第2節 ベクトルと平面図形 ○期末考查	ベクトルを平面図形の性質に関連させ、数学的な見方や考え方のよさを認識する。	期末
7				
2 学期	8	第2章 空間ベクトル	平面ベクトルの性質が空間でもそのまま成り立つことを理解し、様々な事象の考察に活用できるようにする。	中間
	9			
	10	○中間考查		
2 学期	11	第3章 数列 第1節 等差数列と等比数列	様々な数列について学習するため、基本的な数列の考え方を理解する。	期末
	12	○期末考查		
3 学期	1	第2節 いろいろな数列	記号 Σ を導入し、その性質を知り、正しい理解の下で Σ を活用できるようになる。	学年末
	2	第3節 数学的帰納法	漸化式の考えを導入して、数列を帰納的に定義するという意味を理解する。	
	3	○学年末考查		

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学Ⅱ	2	3年生Ⅰ型

1 使用教材

使用教科書	改訂版 最新 数学Ⅱ (数研出版)
-------	-------------------

2 学習の目標

<ol style="list-style-type: none"> 1 問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。 2 応用問題を解くために、図・表・グラフなどを用いて論理的に考察する。 3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。
--

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		各単元の考え方や体系に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査で知識・理解、数学的な見方や考え方、数学的な技能を、小テストなどで、関心・意欲・態度、知識・理解を、各課題や平素の授業などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	2 学期	中間	中間考査 80%、平常点 20%
		期末	考査 $\{(中間+期末) \div 2\}$ 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20%	
学年	$\{(1 学期 + 2 学期) \times 2 + 3 学期\} \div 5$		

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題の解説を聞いて考え方を理解するだけでなく、手を動かして計算することが大切です。 ・ 家庭学習で問題を解いてから解説を聞くことで、その問題の考え方が身に付きます。 ・ 授業では板書の量が多く、ノートを取ることに一生懸命になってしまいます。話をよく聞きながら、ノートを取るスタイルを身に付けましょう。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲
1 学期	4	○課題テスト 第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数	高校で初めて学習する指数・対数に興味を持ち、理解を深める。	中間
	5	第2節 対数関数 ○中間考查		
	6	総合問題 ○期末考查	基本的な計算法を復習し、応用問題の考え方を理解する。	期末
	7			
2 学期	8	○課題テスト	微分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べたり、グラフを書いたりすることができるようになる。	中間
	9	第6章 微分法と積分法 第1節 微分法		
	10	第2節 関数の値の変化 ○中間考查		
	11	総合問題 第3節 積分法	積分の考えを理解し、それを用いて面積を求めることができるようになる。	期末
12	○期末考查 数学Ⅱのまとめ	これまで2年間を通して学んできた数学Ⅱの内容を復習し、理解をさらに深める。		
3 学期	1	算数問題	問題を通して、数学のおもしろさや奥深さを感じてもらい、数学の楽しさを認識する。	学年末
	2	○学年末考查		
	3			

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学Ⅱ	2	3年生Ⅱ型

1 使用教材

使用教科書	新編 数学Ⅱ (数研出版)
副教材等	改訂版 [大学入試センター試験対策] ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B (数研出版)

2 学習の目標

1 授業内容を理解し、応用問題を解くことで、論理的な思考力を身に付ける。
2 演習問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。
3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		各単元の考え方に興味を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査・到達度テストで、数学的な技能、知識・理解を、課題テストなどで、数学的な見方や考え方を、各課題や平素の授業などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	2 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20% (課題テスト含む)
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20%	
	学年	{(1 学期+ 2 学期) × 2 + 3 学期} ÷ 5	

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で学習した考え方を理解し問題を解くだけでは、すぐに忘れてしまいます。家庭学習でたくさん問題を解き、反復練習をすることで授業内容を覚えます。 授業では板書の量が多く、ノートを取ることに一生懸命になってしまいます。話をよく聞きながら、ノートを取るスタイルを身に付けましょう。 自分の解答に自信を持ってください。例え間違っている場合でも、正答と比べることによって、正しい考え方の理解が一層深くなります。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲		
1 学期	4	○課題テスト 第1章 式と証明	計算の仕方や証明方法を再度学習し、学習内容をさらに身に付ける。	中間		
	5	○中間考查				
	6	第2章 複素数と方程式	2次方程式を通して、複素数の世界を再度学習し、学習内容をさらに身に付ける。	期末		
		第3章 図形と方程式	主に点や直線、円などの図形について再度学習し、学習内容を身に付ける。			
	7	○期末考查				
	2 学期	8	○課題テスト 第4章 三角関数		三角関数について再度学習し、学習内容を身に付ける。	中間
		9	第5章 指数関数と対数関数		指数や対数について再度学習し、学習内容を身に付ける。	
10						
11		第6章 微分と積分	微分法と積分法について再度学習し、学習内容を身に付ける。	期末		
12		○中間考查				
		○期末考查 総合問題	これまで学んだ内容を生かして問題演習に取り組み、入試問題への対応力を身に付ける。			
3 学期	1	総合問題	これまで学んだ内容を生かして問題演習に取り組み、入試問題への対応力を身に付ける。	学年末		
	2	○学年末考查				
	3					

教 科	科 目	単位数	学年・クラス (類型)
数学	数学研究	2	3年生Ⅱ型

1 使用教材

使用教科書	数学研究 (愛媛県立三崎高等学校)
副教材等	改訂版 [大学入試センター試験対策] ニューステージ数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B (数研出版)

2 学習の目標

1 授業内容を理解し、応用問題を解くことで、論理的な思考力を身に付ける。
2 演習問題を解くことで、既習事項の理解を一層深める。
3 日常生活の中にある数学に気付くことで興味・関心を持ち、積極的に取り組む。

3 評価の観点・方法、規準

評価の観点		内 容	
関心・意欲・態度		各単元の考え方に関心を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	
数学的な見方や考え方		事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	
数学的な技能		事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	
知識・理解		基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。	
評価方法		定期考査・到達度テストで、数学的な技能、知識・理解を、課題テストなどで、数学的な見方や考え方を、各課題や平素の授業などで、関心・意欲・態度を評価します。	
評価の基準	1 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20%
	2 学期	中間	中間考査 100%
		期末	考査 { (中間+期末) ÷ 2 } 80%、平常点 20%
	3 学期	学年末考査 80%、平常点 20%	
	学年	{(1 学期+2 学期) × 2 + 3 学期} ÷ 5	

4 学習にあたっての助言

<ul style="list-style-type: none"> 授業の中で学習した考え方を理解し問題を解くだけでは、すぐに忘れてしまいます。家庭学習でたくさん問題を解き、反復練習をすることで授業内容を覚えます。 授業では板書の量が多く、ノートを取ることに一生懸命になってしまいます。話をよく聞きながら、ノートを取るスタイルを身に付けましょう。 自分の解答に自信を持ってください。例え間違っている場合でも、正答と比べることによって、正しい考え方の理解が一層深くなります。
--

5. 学習計画

学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	考查 範囲
1 学期	4	方程式と不等式	定理や法則を確実に理解し、復習することで基礎を固める。	中間
	5	○中間考查		
	6	2次関数 図形と計量	生活の中の数学を見出し、応用する力を身に付ける。	期末
7	○期末考查			
2 学期	8	場合の数と確率	確率についての理解を深め、基礎基本を固めるとともに応用力を身に付ける。	中間
	9			
	10	論理と集合 ○中間考查	論理を集合と結び付けて理解する。	
	11	総合問題 ○期末考查		
12	総合問題	総合的な数学の力を身に付ける。	期末	
3 学期	1	総合演習 ○学年末考查	総合的な数学の力を身に付ける。	学年末
2				
3				